

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月22日実施)	総合評価(3月31日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	成果と課題	改善方策等	
1 教育課程 学習指導	<p>①探究活動、体験活動、研究活動を充実させ、生徒一人ひとりの個性をいかした教育課程を編成するとともに、主体的な科目選択ができる系と分野のシステムを充実させる。</p> <p>②創造力、推進力、発信力の育成と学習習慣を確立させ、生徒一人ひとりが積極的に自己を伸ばさせるための学習を支援する。</p>	<p>①生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるために、新学習指導要領に基づいた教育課程を編成し、主体的な科目選択ができるよう工夫する。</p> <p>②学びの成果を発表する機会を設け、主体的な学びに取り組めるよう支援するとともに、目標を設定することで日々の学習計画を促し学習習慣を定着させる。</p>	<p>①充実した施設設備を活用し、専門教育を充実させ、自ら課題を解決する力を育む。また、生徒の現状や関心に即し、単位制、2学期制の特色を活かした教育課程を編成し、学習計画ガイダンスでは理解しやすい説明を行う。</p> <p>②教育活動の充実を図るために、計画的に研究授業を行うとともに、校内研修会を実施することで、情報共有を図り授業改善に努める。</p>	<p>①生徒一人ひとりが課題に対して自ら解決策を講じ、積極的に取り組んでいたか。また、新学習指導要領の導入を円滑に行う過程で、生徒一人ひとりが主体的な科目選択に取り組んでいたか。</p> <p>②研究授業と校内研修を実施し情報共有が行えたか。また、「生徒による授業評価の3, 4」が90%以上になったか。</p>	<p>①学習保障の観点から、生徒が自らの関心や進路選択に基づいた時間割を作成できるような教育課程の編成を行い、単位制専門学科としての教育を充実させた。履修ガイダンスでは説明資料をリメイクし、より理解しやすい内容に改善した。</p> <p>②各教科で1科目以上の研究授業を実施し、研究協議を行った。協議結果を全職員に周知し情報を共有した。また、「生徒による授業評価」では7項目中6項目で評価3, 4が90%以上となった。</p>	<p>①生徒の希望に基づく科目選択の調整には多大な時間を要している。生徒一人ひとりの主体的な選択を最大限に尊重する一方で、新教育課程の完成年度に向けて、科目の精選を行うなど、調整作業の能率化・軽減化を工夫する必要がある。</p> <p>②研究授業等の機会をとらえ、生徒の学びを深められるよう、授業改善に取り組む。</p>	<p>①きめ細かな履修指導や学習計画ガイダンスにより生徒一人ひとりの時間割が作成されていると思います。担当者の負担がかかっている状況は、先生方の知恵を出し合って工夫し、軽減される方策を整えていただきたいと思います。本校の Semester 制について、全日制1年次生女子生徒が授業の回転が速く飽きなくていいと言っていました。</p> <p>②研究授業等の研鑽を積み重ね安定した授業が行われていることが、生徒による授業評価によって理解することができます。リモート活動等いい方向で引き継いでいくことで、コロナ禍の3年間の学習活動の支援の手法が無駄に終わらないと思います。</p>	<p>①生徒一人ひとりの主体的な科目選択を支援することができた。引き続き、調整業務の能率化・軽減化を工夫するとともに、Semester 制のメリットを効果的に活用する研究を行う。</p> <p>②研究授業や校内研修等で課題等を整理し検討することができた。引き続き、組織としての授業改善に取り組む。</p>	<p>①学習計画ガイダンスの時間が限られているため、資料等を工夫してさらに解りやすい指導を進めていく。令和6年度の教育課程編成表を速やかに作成し、新カリキュラムの完成年度に備え研究する。</p> <p>②個々の授業改善を情報共有することで、様々な見方・考え方を取り入れ、組織として課題を共有し改善計画を構築する。</p>
2 生徒指導 ・支援	<p>①生徒一人ひとりの豊かな人間性を育み、生徒理解に基づく生徒指導や支援、教育相談体制を充実させる。また、安心して安全に希望をもって学べる学校をつくる。</p> <p>②生徒の主体性の育成に向け、学校行事や生徒会活動等を充実させる。</p>	<p>①生徒一人ひとりの規範意識を育み、主体的に責任感を持って行動できるように継続的に指導を進める。また、校内の支援体制の充実を図り、生徒一人ひとりの多様性に対応できる学校をつくる。</p> <p>②生徒会活動を通して生徒の良好な人間関係の形成、自己実現を支援する。</p>	<p>①名札着用の声掛けや交通ルール遵守を意識付ける交通安全教室などの活動を通して規範意識を養う活動を関係グループと連携し推進する。</p> <p>①年次会、関係グループと情報交換を密に行い、生徒の状況を確実に把握するとともに、生徒一人ひとりの課題に対応できる組織づくりを行う。</p> <p>②感染防止対策とあわせ、安全な行事運営と部活動の活性化を図る。</p>	<p>①安心で安全な学校生活に向けた取組及び生徒の規範意識の向上と定着に向けた取組を充実させることができたか。</p> <p>①年次会、生徒情報共有会、ケース会議、いじめ対策会議、関係グループとの連携により、生徒の状況を適切に把握し、生徒一人ひとりの課題に組織的に対応できたか。</p> <p>②感染防止対策を講じ行事運営が行えたか。</p> <p>②各行事の生徒の充実、満足度が80%以上となったか。</p>	<p>①全校集会や交通安全教室、様々な講演会を通じて、安全に対する意識と生活習慣の確立に努めた。また、昼休みの校内巡視を導入し、生徒の状況を注視するとともに、問題行動の未然防止に努めた。</p> <p>①年次会、関係グループと情報交換を密に行い、生徒の状況を確実に把握し、生徒の課題に対して対応した。</p> <p>②感染防止対策が緩和される中、本校では引き続き事前申込みやチケット配付などの感染防止対策を続けたうえ、昨年度より来場者の人数制限を緩和して各行事を行うことができた。その結果、各行事とも生徒の満足度が高いものとなった。</p>	<p>①名札を着用する生徒が増えていない現状がある。定期試験のように出欠確認に名札を確認する等の方策が必要と思われる。また、特別指導の件数が昨年より増加している。規範意識をさらに向上させる機会を増やしていきたい。</p> <p>①年次会と生活支援グループの情報共有に比べ、他のグループとの連携が不足していた。課題がある生徒のために有効な手立てを探る。</p> <p>②生徒会活動や学校行事等に関しては、さらに生徒の主体性が育つよう各行事の内容や取り組み方の工夫、組織の見直し等を図る。</p>	<p>①学校生活でのルール遵守や、交通安全教育の実施、また、社会的な問題になっている外食チェーン店での非常識な行動や闇バイトなど、生徒の規範意識の醸成、生徒が犯罪の加害者にも被害者にもならないよう、粘り強く、継続的な指導をお願いします。</p> <p>①ワンチームとしての取組をお願いします。</p> <p>②体育祭・文化祭等の学校行事が開催されたこと喜ばしく思います。事前予約による中学3年生の来場許可等、様々な工夫をされて実施されたことを評価します。</p>	<p>①学校生活でのルール遵守、規範意識の向上は定着しつつある。他方、問題行動を起こす生徒もいる状況であることから、様々な機会を捉え、未然防止の取組を充実させることが課題である。</p> <p>①年次会と関係グループの連携が密になったが、さらに連携を強化することが必要である。</p> <p>②生徒会活動や部活動、各行事においては、年間を通して生徒の積極的な取り組みや活発な意見交換が行われ、生徒間の良好な人間関係が育まれた。また、コロナ禍で制限のある実施ではあったが、体育祭では73%、文化祭では97%という高い満足度が得られた。</p>	<p>①定期的な朝の通学指導や昼休みの巡回指導、LHRを使った規範指導などを充実させる。また、名札の着用やTPOを意識した身だしなみ指導など、教職員の共通認識のうえで、計画・実施する。</p> <p>①必要な生徒にはケース会議を積極的に開催し、S・C・SSWを活用しつつ、外部機関を含め、組織的に取り組む。</p> <p>②次年度は、感染対策がさらに緩和されると思われるが、引き続き感染対策を視野に入れた活動を実施するとともに、各行事においては、徐々にコロナ前の活動内容に戻し、さらに活性化するように、実施方法や実施内容を検討する。</p>

3	進路指導 ・支援	社会で生きるために必要な知識や能力を身に付けるとともに、個々の進路希望を実現させるための支援とキャリア教育を充実させる。	生徒一人ひとりの主体的な進路希望を実現するために、キャリア教育および進路支援体制を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ガイダンスおよび面談を適切に実施し、支援を行う。 ・計画的なアセスメント（模擬試験など）およびインターンシップなどを実施する。 ・「総合的な探究の時間」を活用し、自己のあり方、社会とのかかわりについて考える機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ガイダンスおよび面談を適切に実施し、卒業時の進路未決定者を減少させることができたか。 ・模擬試験を計画の80%以上実施することができたか。また、インターンシップに参加した生徒へのアンケート結果で「満足できる」が80%以上となったか。 ・「総合的な探究の時間」を活用し、自己のあり方、社会とのかかわりについて考える機会を設けることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ガイダンスおよび面談を適切に実施することができた。 ・模擬試験を100%計画通り実施することができた。インターンシップは感染症防止対策を講じ、外部事業者との連携を密にして実施した。 ・「総合的な探究の時間」を通して探究学習の活用し、生徒一人ひとりが思考し表現する機会を設けることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが現実を直視しながら未来をみつめ、可能な限り早く進路実現に向けた意識を持たせるよう支援する。 ・アセスメントの活用について研究を深める。 ・3年間の「総合的な探究の時間」で培った力を、進路活動で活用することができるように、学校としての指導体制を確立する。 	新学習指導要領が求めるものは探究がキーワードになります。大学入試にも影響が出ると考えますし、課題研究の話を伺えてよかったです。総合的な探究の時間と課題研究の整理をしていただくとよいと思います。推薦入試等による進路決定者が多くいますが、生徒一人ひとりのニーズに沿った結果だと推察します。大学入学共通テストにかかる丁寧な指導もお願いします。生徒の希望進路の実現に向けて、引き続き、丁寧なご指導をお願いいたします。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの自己実現を支援することができた。進路選択に主体的ではない生徒・保護者への支援が必要である。 	各年次と緊密な連携を継続し、進路ガイダンスを効果的に実施する。総合的な探究の時間を充実させ、生徒が主体的に早い段階で目標を設定できるように支援する。
4	地域等との協働	<p>①積極的なボランティア活動を展開し、地域の小中学校や自治会など近隣地域との連携を深め、地域に根ざした教育活動を推進する。</p> <p>②学校の情報を広く地域に発信し、地域と共にある学校づくりをさらに進める。</p>	<p>①コミュニティ・スクールを利活用するとともに、地域および他校との連携を図り、生徒一人ひとりの主体性を育成する。</p> <p>②学校の取組や生徒の様子をホームページや広報関係の行事を通じ地域へ広く発信する。</p>	<p>①相模原地区内の高校や専門高校など他校間との連携を図り、保護者、生徒と積極的にイベントやボランティア活動を行う。</p> <p>②ホームページ運用を学校全体で取り組み、様々な行事を通じて生徒の様子等を積極的に発信する。</p>	<p>①地域や他校間、サポーターズや自治会など地域に根差した教育活動を推進できたか。地域や外部と連携した活動を行ったか。</p> <p>②ホームページ運用を学校全体で行い、更新回数50回を上回ることができたか。また、生徒の活躍を画像や動画を含め、積極的に発信できたか。</p>	<p>①専門教育部会主管校として、各専門高校PTA関係者に特色ある授業の体験してもらうことができた。また、交通安全大会の主管校として、相模原地区の高校と連携し、交通安全に対する意識を高めることができた。</p> <p>②ホームページ更新回数は81回で目標を達成した。学校の施設や授業の概要などの動画や画像で、ホームページや学校説明会等を利用して発信することができた。</p>	<p>①コロナ禍で地域や他校間、サポーターズや自治会など地域に根差した教育活動が途切れがちになった。実施可能な地域連携活動を洗い出し再開する。</p> <p>②ホームページの更新は、行事の様子などタイムリーに更新することに困難を伴う。ホームページ講習会等で教職員の操作スキルを向上させ、充実させる。</p>	<p>①新たな連携行事への参加ありがとうございました。生徒の励みになってと思います。コロナ行動制限緩和、地域行事への協力をお願いしたい。</p> <p>②ホームページでの情報発信は、中学生等に学校の教育活動を理解していただく有効な手段だと思います。昨年度に引き続き、一部更新が滞っていることが確認できます。改善していただきたいと思ひます。</p>	<p>①新たな連携行事を実践することができた。導入年度であったため教職員主導で実施したが、生徒主体で実施できるようにすることが必要である。</p> <p>②ホームページの更新回数は達成できたが、タイムリーな更新には至っていない。教職員の操作スキルを向上させることが必要である。</p>	<p>①地域活性のプロジェクトや高大連携を充実させ、生徒が主体的に関わることのできる環境整備を行う。</p> <p>②全教職員に向け、ホームページ講習会を実施する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①事故・不祥事の未然防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力を向上させる。</p> <p>②生徒の防災意識を高め、防災教育を推進する。</p> <p>③教員や生徒、保護者など学校関係者が協力した、行事を事故なく執り行うとともに、生徒の学習成果発表などを積極的に発信する。</p> <p>④教員のライフワークバランスを推進するため教員の働き方改革を推進する。</p>	<p>①事故・不祥事をゼロとする。</p> <p>②防災教育の充実を図り、生徒一人ひとりの防災意識を高める。</p> <p>③グループ間で情報を共有し、生徒・保護者とともに行事を滞りなく実施する。また、環境整備を充実させる。</p> <p>④ライフワークバランス・働き方改革に対する、教職員の意識を向上させる。</p>	<p>①事故・不祥事防止会議のさらなる充実を図り教職員の意識を向上させる。</p> <p>②生徒・教員等の学校関係者に対して、様々な状況下での災害時の適切な行動が取れるよう、安全指導対策を計画し実践する。</p> <p>③L B T部の協力などにより行事が一層充実するように努める。関係部署との連携を取る。</p> <p>④日々の声かけや衛生委員会の活用により、情報収集・情報提供を行い、教職員の意識を向上させる。</p>	<p>①事故・不祥事がゼロであったか。</p> <p>②防災教育として、コロナ禍でも対応可能な大規模災害時を想定した生徒・教員等の学校関係者が連携した訓練等を行うことができたか。</p> <p>③関係部署と連携を取り、行事を実施できたか。関係部署と情報が共有できたか。</p> <p>④教職員間の声かけが増えたか。衛生委員会による情報提供が10回以上行えたか。</p>	<p>①事故・不祥事がゼロであった。</p> <p>②防災訓練の集合形態等を変更し、現実的な防災訓練になった。防災備蓄品は、1年次生から食料・飲料以外にアルミシートを購入して、大規模災害や帰宅困難を想定した備蓄品となるよう改善した。</p> <p>③学校行事や学校説明会ではグループ間の調整や生徒との連携できめ細かく情報を共有し対応できた。</p> <p>④衛生委員会はコロナ禍の影響もあり、8回の実施にとどまった。働き方改革の推進のための情報提供は行うことができた。</p>	<p>①事故・不祥事防止会議を充実させヒヤリハット事例も含めゼロとする。</p> <p>②防災訓練の充実を引き続き検討する。</p> <p>③関係部署と協力し、引き続き、アフターコロナを見据えた活動計画等を検討し、生徒の活躍の場を広げたい。</p> <p>④様々な機会をとらえ、教職員の意思疎通と情報共有を行なう。</p>	<p>①全職員で事故・不祥事をゼロとしたことを評価します。</p> <p>②生徒の安心・安全のため、引き続き、防災教育・減災教育の実施をお願いします。</p> <p>③コロナ禍でも、工夫して式典等を実施していただき感謝します。引き続き、行動制限緩和の後を見据え活動計画を検討いただきます。</p> <p>④教職員の様々な工夫で、コロナ禍での業務拡大を最小限に止め、働き方改革を行っていくうえで、困難を伴ったと思います。その蓄積をいい方向で活用していただきたい。</p>	<p>①事故・不祥事防止会議の充実により事例の共有と未然防止の取組に生かすことができた。</p> <p>②防災訓練に加え1年次においてD I G訓練を実施し通学時等の防災意識を向上させることができた。D I G訓練を全年次で実施することを検討する。</p> <p>③感染予防策を講じて各種行事をほぼ計画通りに実施することができた。</p> <p>④教員のライフワークバランスについて、情報を共有するとともに、改善意識を醸成できた。引き続き、時間外勤務の縮小を目指す。</p>	<p>①事故・不祥事防止のための確実なチェック体制の構築を目指し、事故・不祥事防止会議の充実と全職員の意識向上を図る。</p> <p>①会計業務に携わらない職員に対しても、マニュアルや処理方法を周知し、事故防止に努める。</p> <p>②防災訓練の充実を図るために、日程の調整なども行いながら防災教育・減災教育の検討を行い実施する。</p> <p>③コロナ禍での対応をいい方向で継承し、より安心して式典や行事が開催できるようにする。</p> <p>④教職員の健康は生徒指導・支援の絶対条件であることから、組織全体で考えていく。</p>